

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

WPW 症候群に対するアブレーションでの Open-Window Mapping の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2021 年 6 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日の間に当院の循環器内科で WPW 症候群に対するカテテルアブレーションを受けた方を対象と致します。

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2026 年 6 月 30 日 まで

251225

3. 研究目的・方法

目的 下記の試料・診療情報等を利用し、WPW 症候群に対するアブレーションでの新しい三次元マッピングの手法 (Open-Window Mapping) の有用性について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において WPW 症候群の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに 3 次元マッピングのデータを選び、Open-Window Mapping に関する分析を行い、アブレーション治療での有用性について調べます。

方法 この研究では診療情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（心電図、心臓超音波検査）、3次元マッピングデータ

5. 情報の提供先・提供方法

本研究は当院単施設のみで実施する研究ですので、他施設への情報の提供は行いません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2200）

研究責任者 循環器内科 柳下 敦彦

問い合わせ担当者 循環器内科科／柳下 敦彦